

G 4 閣僚級会合の共同声明（骨子）

1. G 4 外相は、安保理改革が喫緊に必要であることに合意。
2. G 4 外相は、安保理改革に関する議論が依然として膠着状態にあることへの懸念を表明。同時に、すべての外相に対し、国連創設 70 周年を、安保理改革で具体的成果を達成するための全ての努力を払う機会として活用するよう奨励した。
3. G 4 外相は、拡大された理事会においてアフリカを含む途上国が常任及び非常任の双方のカテゴリーにおいて代表されることが重要であるとの考えを再確認。
4. G 4 外相は、改革推進派の加盟国に更に働きかける旨強調。（日本の本年 7 月のアウトリーチ会合主催への賞賛並びに、ブラジル、インド及び日本がそれぞれ主催した市民社会とのセミナーを想起。）
5. G 4 外相は、アッシュ国連総会第 68 会期総会議長が交渉に向けて前向きな機運を創出する上で果たした重要な役割を評価。タニン政府間交渉議長による政府間交渉の概要作成を歓迎。
6. 安保理改革実現のため、クテサ第 69 会期国連総会議長と緊密に連携するとの意図を表明。

（了）